

第 2 回		
氏 名	勤 務 先	職 名
星 幸 雄	耶麻郡西会津町立黒沢小学校	教 頭
高 橋 士 郎	相馬郡小高町立鳩原小学校	校 長
吉 田 正	いわき市立入遠野小学校	教 頭
伊 藤 末 吉	伊達郡月館町立月館中学校	教 頭
村 上 進	石川郡石川町立沢田中学校	校 長

- ③ 道徳教育校長等指導者養成実践講座（地区別講座）
 ○ 北海道・東北地区教育課程講習会をもってこれを兼ねた。（P 52 と同じ）

- ④ 道徳教育校長等指導者養成実践講座（都道府県講座）

ア 主 催 文部省、福島県教育委員会
 イ 会 場 各管内ごとに設定（8会場……県中2会場）
 ウ 期 日 各管内ごとに3日を設定
 （始期6月20日、終期11月16日）

エ 参加者数 小学校265名、中学校143名、計408名

- ⑤ 道徳教育指導行政担当者養成講座

ア 主 催 文部省
 イ 会 場 国立婦人教育会館
 ウ 期 日 平成2年7月17日～7月20日
 エ 受 講 者 5名（指導主事）

- ⑥ 小学校教育研究会道徳部会

ア 「研究主題」 「たくましく生きる心を育てる道徳の授業はどうあればよいか。」

イ 主 催 福島県教育委員会、福島県小学校教育研究会
 関係市町村教育委員会

ウ 会場・期日 地区 各地区ごとに設定（16会場）7月～8月
 県 耶麻郡山都町立山都第三小学校

- ⑦ 中学校教育研究会道徳部会

ア 「研究主題」 「人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力の育成を図るための道徳の時間の指導はどうあればよいか。」

イ 主 催 福島県教育委員会、福島県中学校教育研究会
 関係市町村教育委員会

ウ 会場・期日 地区 各地区ごとに設定（16会場）7月～8月
 県 会津若松市立第一中学校

(2) 平成2年度福島県道徳教育振興会議

① 趣 旨

学校における道徳教育をより効果的に推進するためには、学校と家庭や地域社会の密接な連携を図ることが必

要である。このことから、学校教育関係者のみならず、県内の各界各層から道徳教育に関して幅広く意見を聴取し、これを今後の学校における道徳教育に反映させるとともに、道徳教育の充実、振興に向けて県民全体で取り組む気運を醸成する。

- ② 主 催 福島県教育委員会

- ③ 会場・期日及び内容

第1回 会津若松市立謹教小学校 平成2年9月6日
 「学校における道徳教育の現状と課題」

第2回 会津若松市立門田小学校 平成2年10月5日
 「基本的な生活習慣の形成と道徳教育」

第3回 サンバレス白鳥 平成2年12月13日
 「提言の方法、内容についての検討」

第4回 会津若松市文化福祉センター 平成3年1月16日
 「県民向けリーフレット案の検討」

第5回 会津若松合同庁舎 平成3年2月15日
 「県民向けリーフレット最終原稿の確認と振興会議の反省」

- ④ 委 員（20名）

（○印 会長、○印 副会長）

氏 名	現 職
穴 澤 卯一郎	会津教育事務所管内三地方連絡協議 会長
石 嶋 民 義	喜多方ロータリークラブ会長
岩 田 弘	喜多方市社会教育委員の会会長
薄 靖 子	会津坂下町社会教育委員
梅 津 正 夫	会津若松ライオンズクラブ会長
○木 幡 春 夫	北会津地区小学校長会長
齋 藤 義 次	喜多方市教育委員会教育長
◎酒 井 淳	会津若松市教育委員会教育長
佐 藤 聡	会津坂下町教育委員会教育長
高 倉 角之丞	福島民報会津若松支社長
高瀬 喜左衛門	福島県立会津短期大学長
中 島 重 治	会津青年会議所理事長
長谷川 素 子	耶麻地区公立幼稚園長会長
島 忠 夫	高校長協会会津支部長
花 見 和 子	耶麻婦人連絡協議会長
原 田 惣一朗	会津若松市子供会育成連絡協議会長
平 山 恒 雄	会津若松市連合PTA会長
廣 瀬 成 裕	北会津地区中学校長会長
森 田 慶 一	北会津地区小中学校教頭会長
大 和 力	福島民友新聞若松支社長

（あいうえお順）

- ⑤ 成 果

- 昨年度までの振興会議の成果を踏まえ、「基本的な生活習慣の形成と道徳教育」に焦点を絞って提言をまとめることができた。
- 「提言」を生かすための市町村教育委員会、学校、家庭、地域社会の具体的な取り組みを明らかにすることができた。